

船舶事故調査報告書

令和3年6月23日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	推進器損傷
発生日時	令和2年9月2日 02時35分ごろ
発生場所	大分県津久見市津久見港 津久見港西防波堤西灯台から真方位320° 1,360m付近 (概位 北緯33°05.3′ 東経131°51.3′)
事故の概要	砂利採取運搬船第三住若丸は、離岸作業中、船尾錨のワイヤが推進器に絡み、推進器翼が損傷した。
事故調査の経過	令和2年10月14日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	砂利採取運搬船 第三住若丸、493トン
船舶番号、船舶所有者等	133912、尾崎マリン株式会社（A社）
乗組員等に関する情報	船長、三級（航海）
負傷者	なし
損傷	推進器翼に欠損等
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 東北東、風力 4、視界 良好 海象：海上 平穏
事故の経過	<p>本船は、船長ほか4人が乗り組み、右舷着けで係留し、船首錨鎖を4～5節（約100～125m）、船尾錨のワイヤ（以下「本件ワイヤ」という。）を約150m以上伸出させて、約1,500tの石灰石を満載状態（船首約3.7m、船尾約5.1mの喫水）で、船長が操船して離岸作業を開始し、係留索を放した。</p> <p>本船は、船尾が左舷方に振れて岸壁から離れるように右舵一杯で主機を前進微速運転及び後進微速運転を繰り返しながら、船首錨及び船尾錨を巻き上げていたところ、主機が急停止した。</p> <p>船長は、船尾部の乗組員から本件ワイヤを巻き込めないとの報告があり、本件ワイヤを推進器翼に絡んだのではと思い、船尾甲板に降りて確認したが、本件ワイヤが右舷方に出ていたので再度、主機を前進微速運転としたところ、本件ワイヤが船尾下付近に入っていたので、本件ワイヤを推進器翼に巻いたと判断した。</p> <p>船長は、A社に報告するとともに海上保安庁への通報を依頼し、本船は、日出後、海上保安官立ち会いの下、本件ワイヤを巻き上げたところ、支障なく揚収でき、本件ワイヤに錨から数十mの場所に擦過傷が認められた。その後、自力で回航して入渠し、確認したところ、推進器翼に欠損及び擦過傷が認められた。</p> <p>本船は、着岸操船時、対岸の棧橋まで十分な間隔がないことを考慮して着岸棧橋と小角度で進入し、その途中で船尾錨、船首錨を順次投</p>

	<p>下して錨鎖及び本件ワイヤを伸ばしながら着岸したので、その錨鎖及び本件ワイヤが共に左舷船尾方に伸出した状態であった。</p> <p>船長は、離着岸の甲板作業時には、船首部に甲板部員を、船尾部に機関部員を配員していたが、本事故時、機関部員1人が休暇で、船尾部で1人で巻上機の操作を行っていたので、本件ワイヤの伸出状態などの見張りが困難な状態であったと本事故後に思った。</p> <p>船長は、揚錨時、主機を前進微速運転及び後進微速運転を繰り返していたが、左舷船尾方に伸出していた船首錨の錨鎖を巻き上げていたので、本船が後進行きあしになり、本件ワイヤも同時に巻き上げていたものの弛んで推進器翼に絡んだのではと本事故後に思った。</p>
<p>分析</p>	<p>本船は、北東の風力4の風の吹く状況下、船尾部に機関部員1人の配員によりワイヤの伸出状態が十分確認できない状態で、係留索を放して離岸作業中、船首錨の錨鎖を巻き上げて左舷船尾方に後進行きあしの状態で本件ワイヤの巻き上げを行ったことから、本件ワイヤが弛んで推進器翼に絡み、推進器翼が損傷したものと考えられる。</p> <p>本船は、離岸作業を開始した際、左舷船尾方から風を受けていたものの、本事故発生時には船尾を左舷方に振っていたことから、風が左舷船尾方から右舷船尾方に変わり、本件ワイヤが弛んだと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、夜間、北東の風力4の風の吹く状況下、船尾部に機関部員1人の配員によりワイヤの伸出状態が十分確認できない状態で、係留索を放して離岸作業中、船首錨の錨鎖を巻き上げて左舷船尾方に後進行きあしの状態で本件ワイヤの巻き上げを行ったため、本件ワイヤが弛んで推進器翼に絡み、推進器翼が損傷したものと考えられる。</p>
<p>再発防止策</p>	<p>本事故後、本船は、船長の要望により本船の乗組員が1人増員され、離着岸作業時に、船首部及び船尾部共に、常時2名を配員することとした。</p> <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後進行きあしで船尾錨のワイヤを巻き上げる際は、巻上機の操作員のほかに、ワイヤの伸出方向及び張り具合などを監視する乗組員を配員し、ワイヤが弛んだ時に速やかに船橋に連絡できる態勢にすること。